ISSN 1881 － 980X

一般社団法人日本科学教育学会
Japan Society for Science Education
発　行：中山　迅
事務局：中西印刷株式会社　学会部内
URL：*http://www.jsse.jp*

2020.2.15
NO.246

科学教育研究レター

JSSE
日本科学教育学会

目　次

■ **選挙管理委員会だより** ・・・・・・・・ 2
役員選挙・代議員選挙のお知らせ

■ **学会賞** ・・・・・・・・ 3
2020 年度学会賞候補者の募集

■ **年会** ・・・・・・・・ 5
第 44 回年会開催案内（第３次）

■ **支部・研究会だより** ・・・・・・・・ 9
研究会投稿料に関するお知らせ
2019 年度研究会開催のお知らせ

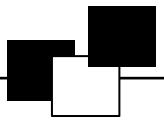
■ **国際交流委員会だより** ・・・・・・・・16
国際学会参加報告（61）
国際学会開催情報

■ **若手活性化委員会だより** ・・・・・・・・19
「2019 年度第３回日本科学教育学会研究会」報告
日本科学教育学会第 44 回年会若手チュートリアル
＆スタートパーティー予告

■ **編集委員会だより** ・・・・・・・・22
「科学教育研究」編集状況報告
「科学教育研究」投稿状況および掲載決定状況
特集投稿募集のお知らせ（再）

■ **広報委員会からのお知らせ** ・・・・・・・・26

一般社団法人日本科学教育学会役員選挙・代議員選挙のお知らせ



役員選挙管理委員会
代議員選挙管理委員会

一般社団法人日本科学教育学会では，次年度（2020 年 7 月 1 日～）以降の新役員候補および第三期代議員の選挙を実施します.

新役員選挙では，理事 10 名および監事 1 名を選出します．2022 年まで任期のある役員はそのまま役員候補となり，今期で任期満了となる役員が改選となります．代議員選挙では代議員 20 名を選出します．代議員は会員の代表として総会で議決権を行使します．そのため，年齢，性別，専門，地域などで偏りのない幅広い層から選ばれることが重要です．女性や学生・若手からの立候補・推薦も大いに歓迎します.

皆様のお手元に２つの選挙の候補者推薦に関する会告を発送いたしました．ご一読いただき，相応しい候補を推薦（代議員については立候補も可）いただきますよう，よろしくお願いいたします.

学会賞

公　示

2020 年度学会賞候補者の募集

一般社団法人日本科学教育学会　大塚賞，同学術賞，同国際貢献賞，同論文賞，同科学教育実践賞，同功労賞, 及び同奨励賞の候補者を下記により募集します. 会員の皆様からの多数の推薦をお願い申し上げます.

１．推薦期限

2020 年（令和 2 年）5 月 11 日（月）（必着）

２．推薦資格

(1) 推薦者は会員とする.

(2) 会員は，各賞について，それぞれ１件のみ推薦できる.

(3) 各賞の推薦は他薦のみとする.

(4) 推薦者は, 推薦書の様式を学会ホームページ（「各書式」からダウンロードできます）で, 入手の上, その様式にしたがって作成した推薦書を学会事務局に提出する.

３．受賞資格

(1) 大塚賞:科学教育に関する著しい業績や貢献によって本法人の発展に寄与した会員とする. なお, 本賞の受賞は１度限りとする.

(2) 学術賞：科学教育において先導的・開拓的な業績や功績を挙げ，科学教育の発展に寄与した会員とする. 対象となる業績や功績は, 原則として, 推薦期限の日から過去 10 年以内のものとする. なお, 本賞受賞後さらに顕著な業績や功績をあげた場合には, その部分について受賞対象とする.

(3) 国際貢献賞:科学教育の国際貢献･国際協力研究に関して顕著な業績や功績のあった会員とする. 対象となる業績や功績は，原則として，推薦期限の日から過去５年以内のものとする．なお，本賞受賞後，さらに顕著な業績や功績をあげた場合には，その部分について受賞対象とする.

(4) 論文賞：科学教育に関する優れた研究を行い，その成果を「科学教育研究」に論文として発表した会員とする．対象となる論文は，原則として，推薦期限の日から過去３年以内に発表されたものとする．なお，本賞受賞後さらに優れた論文を発表した場合には，その論文について受賞対象とする.

(5) 科学教育実践賞：科学教育の実践研究に関して顕著な業績や功績のあった会員，または，会員との連携により，科学教育に従事し，顕著な業績や功績のあったグループとする．対象となる業績や功績は，原則として，推薦期限の日から過去３年以内のものとする．なお，本賞受賞後さらに顕著な業績や功績をあげた場合には，その部分について受賞対象とする.

(6) 功労賞：学会の管理・運営を通じて学会活動の充実・発展に寄与した会員とする．なお，本賞の受賞は１度限りとする.

(7) 奨励賞：科学教育に関する優れた研究を行い，その成果を「科学教育研究」,「年会論文集」,「研究会研究報告」に発表した若手の会員とする．対象となる論文等は，原則として，推薦期限の日から過去２年以内に発表され，受理の時点で 39 歳以下のものとする．なお，本賞の受賞は１度限りとする.

４．受賞件数

各賞の受賞件数は特に定めない.

５．選考

会員からの推薦に基づいて，学会賞選考委員会が候補者を選定し，理事会が決定する.

６．賞

(1) 本賞は賞状とする.

(2) 賞の贈呈は，2020 年度代議員総会において行う.

７．備考

論文賞の対象は,「科学教育研究」Vol.41，No.2 以降に掲載の論文とする．また，奨励賞の対象は,「科学教育研究」Vol.42，No.2 以降,「研究会研究報告」Vol.32，No.6 以降及び第 42 回・第 43 回年会論文集に掲載の論文等とする.

第 44 回年会 開催案内（第３次）

年会企画委員会・年会実行委員会

１．**日程**：2020年8月25日（火）～27日（木）（3日間を予定）

２．**会場**：姫路商工会議所

（〒670-8505　兵庫県姫路市下寺町 43）

https://www.himeji-cci.or.jp/accessmap/index.html

※懇親会（26 日（水）夕方）は，姫路商工会議所 2 階大ホールで予定しています.

３．**スケジュール概要（予定）**※プログラム編成により変更になる場合があります.

25 日（火）午前：研究発表

午後：研究発表　理事会（改選前）　顧問・理事・代議員合同会議

26 日（水）午前：研究発表　招待講演（科学教育研究セミナー）

午後：総会・表彰　基調講演　シンポジウム　懇親会

27 日（木）午前：研究発表

午後：理事会（改選後）　研究発表（申込状況により設定）

※この他，各委員会による企画，各委員会の会合等があります.

４．**内容**：次の内容を予定しています

(1) 基調講演
(2) シンポジウム
(3) 科学教育研究セミナー（招待講演）
(4) 課題研究発表
(5) 一般研究発表
(6) インタラクティブセッション
(7) その他の企画

※年会のタイムテーブルは，2020年 3 月下旬に年会 Web サイトにて公開予定.

５．**発表申込等について**

(1) 課題研究発表の申込・原稿提出

特定のテーマについて徹底的に議論できる場とします．企画をお持ちの方は応募ください.

なお，企画応募締切が例年より1週間ほど早くなっていますので，ご注意ください.

＜スケジュール（予定）＞

・企画応募締切：2020年4月17日(金)【オーガナイザー → 年会企画委員会】
・受 理 審 議： 2020年4月27日(月) ～ 5月1日(金)【年会企画委員会】

・審議結果報告：2020年5月11日(月)【年会企画委員会 → オーガナイザー】
・原稿提出期間：2020年5月18日(月) ～ 6月10日(水)【オーガナイザー → アップロード】
※ 6月10日(水)は，登壇者がオーガナイザーに提出する期限ではなく，オーガナイザーが登壇者全員の原稿をとりまとめて年会企画委員会に提出（「JSSE 年会申込 Web サイト」からアップロード）する期限です．なお，今大会より，登壇者自身によるアップロードも検討中です．詳細が決定次第，またあらためて通知します．

＜企画応募方法＞
・年会 Web サイト掲載の方法で，申し込んでください．
＜原稿提出方法＞
・年会 Web サイト掲載の方法で，「JSSE 年会申込 Web サイト」から必要事項を記入の上，完成原稿（発表1件あたり４ページまたは２ページ）のPDF ファイル（１ファイル約１MB 未満，セキュリティなし）を提出（アップロード）してください．
＜応募に当たっての留意事項＞
・オーガナイザー資格：会員でなければなりません．
・登壇者：登壇者を企画受付締切までに確定してください．課題研究発表での登壇は１回とし，登壇者の重複はできません．登壇を依頼される場合には，当該登壇者が他の課題研究発表と重複ができない点を周知・確認した上で確定するようにしてください．なお，登壇者とは別に指定討論者を立てる場合には，申請用紙に記入してください．指定討論者については，重複を認めます．
・登壇者資格：登壇者は会員，非会員を問いません．ただし，非会員による発表件数は，原則として当該課題研究における全発表件数の半数を超えないものとします．やむを得ずに半数を超える場合は，企画受付締切までにその理由を申請用紙に添えて申し込んでください．非会員の発表件数が全発表件数の半数を超えた場合で理由書の添付されていない企画は受理されません．非会員の発表件数が当該課題研究における全発表件数の半数を超えている企画について受理するかどうかは，年会企画委員会で審議します．なお，受理された企画であっても，受理後に登壇者の変更がなされ，非会員による発表件数が当該課題研究における全発表件数の半数を超えた場合，受理が取り消される場合もありますので，ご留意願います．

(2) 一般研究発表・インタラクティブセッションの申込・原稿提出
＜スケジュール（予定）＞
・申込及び原稿提出期間：2020年5月18日(月) ～ 6月10日(水)
※申込と原稿提出を同時に行ってください．
※期日等に変更が生じた場合は，学会 Web や科学教育研究レターなどで通知します．
＜申込及び原稿提出方法＞
・年会 Web サイト掲載の方法で，「JSSE年会申込 Web サイト」から必要事項を記入の上，完成原稿のPDF ファイル（１ファイル約１MB 未満，セキュリティなし）を提出（アップロード）してください．
・書式や留意事項等の詳細は，「日本科学教育学会 年会論文集 執筆要項」をご覧ください．
＜資格・登壇可能件数＞
・登壇者資格：会員でなければなりません．
※本欄における「会員」とは，学会事務局が入会申込書の受付を済ませていることを意味します．ただし，発表申込及び原稿提出期間と年会開催日程が学会の事業年度（毎年 7月1日から翌年 6月30日）をまたぐため，

入会申込書の受付を済ませた者の入会時期（入会手続きの完了時期）については，発表申込及び原稿提出期間の年度ではなく，年会が開催される新年度からの入会でも可とします.

・登壇者として申込可能な一般研究発表・インタラクティブセッションの件数は，各１件です．なお，一般研究発表・インタラクティブセッションの登壇者は，課題研究，その他の企画にも登壇することができます.

＜発表時間＞

・一般研究発表の持ち時間は 20 分程度（発表 15 分，質疑・討論５分）を予定しています.

・インタラクティブセッションは２時間の発表時間を設定する予定です.

(3) 年会論文集原稿の執筆内容に関する留意事項

原稿執筆にあたっては，次の要件を満たすように心がけてください.

◆研究領域

日本科学教育学会の会員が関心を持つ研究領域の研究である.

◆主題または問題の所在

問題の所在が明快である.

◆研究の背景

関連研究，依拠する理論，関連する実践等によって，研究の背景が明示されている.

◆研究の方法

研究の方法論，手順，計画などが適切で，それらが明示されている.

◆結果と知見

得られた結果，知見，アイデア等が明示されている.

◆結論

問題の所在に即した結論や課題が明示されている.

６．各委員会等による企画

(1) 若手活性化委員会

・25日（火）の午後から夜にかけて，チュートリアル，スタートパーティを計画中です.

(2) 国際交流委員会

・26日（水）の昼に，国際ランチョン・ミーティングを計画中です.

７．論文集USBの廃止について

・論文集PDFが収められたUSBの配布はいたしませんので，ご注意下さい．要旨集（紙媒体）の配布は，これまで通り継続する予定です.

・論文集PDFの事前ダウンロードについては，従来通り，事前参加申込者にパスワードを通知致します.

・論文集PDFの年会当日ダウンロードについては，参加受付時に，パスワードとダウンロード方法を明記した用紙を配布し，個人所有のモバイルWiFiルーター等を介してインターネット上で行えるようにする予定です（会場には，フリーでアクセスできるインターネット環境は限られておりますのでご注意下さい）．また，インターネットを介さないでもダウンロードできるように，当日，ダウンロード用のUSB数本やパソコン数台を用意しておく予定です.

８．**連絡先**：日本科学教育学会第 44 回年会実行委員会

E-mail：jssehyogo44 [at mark] gmail.com

９．**第44回年会実行委員会**

委 員 長　松本伸示（兵庫教育大学）

副委員長　山本智一（兵庫教育大学）

委　　員　石原諭（兵庫教育大学），猪本修（兵庫教育大学），笠原恵（兵庫教育大学），
加藤久恵（兵庫教育大学），溝邊和成（兵庫教育大学），
宮田佳緒里（兵庫教育大学），森山潤（兵庫教育大学），山口忠承（兵庫教育大学）

10．**年会企画委員会**

委 員 長　林　敏浩（香川大学）

副委員長　瀬戸崎典夫（長崎大学），向　平和（愛媛大学）

幹　　事　加藤久恵（兵庫教育大学）

担当理事　大谷　忠（東京学芸大学），山本智一（兵庫教育大学）

委　　員　川上　貴（宇都宮大学），川崎弘作（岡山大学），木村優里（NPO 法人東京学芸大学こども未来研究所），北島茂樹（明星大学），高井吾朗（愛知教育大学），高橋一将（北海道教育大学），高橋　聡（東京理科大学），野添　生（宮崎大学），服部裕一郎（高知大学），日野圭子（宇都宮大学），谷塚光典（信州大学），山田真子（長崎大学）

研究会投稿料に関するお知らせ

2019 年度の研究会から，第 1 著者の方に投稿料をお支払いいただくことになりましたので，以下に詳細をお知らせいたします.

［投稿料の金額と要件］

【1】金額 (１論文あたり)

・第１著者が会員の場合　４ページ論文：4,000 円，6 ページ論文：6,000 円

・第１著者が非会員の場合　４ページ論文：8,000 円，6 ページ論文：10,000 円

※振込手数料を別途ご負担ください.

※振込者名は，原則として第 1 著者名でお願いします．他の連名著者が支払う場合には，通信欄もしくは送信者名の冒頭に必ず第 1 著者名を記載してください.

※請求書や領収書が必要な場合には, 宛名（所属・名前）を申込み時に, 事務局（ jsse[atmark]nacos.com ）にお知らせください.

【2】事前振込となります.

【3】振込期日は原稿の提出日と同日です.

【4】期日までに入金が確認でき，原稿が提出された発表のみ，研究会の２日前に J-Stage に論文を公開します.

※振込手続の際には，入金日をご確認うえ，期日に間に合うようご注意ください.

（期日までにご入金が確認できない場合は，J-Stage に論文は公開されず，発表はできません.）

・学生会員も同様です.

・発表申込み時に「入会申込み」が完了していれば，会員として扱います.

・１つの研究会で第１著者として申込みできるのは，１件です.

・当日，発表者として登壇できるのは，原則第１著者とします.

・一度入金された投稿料は，いかなる場合も一切返金しません．返金に関する問い合わせへの対応も一切いたしませんので，予めご了承ください.

［送金先（郵便振替貯金口座)］

加入者名：一般社団法人日本科学教育学会

口座番号:00170-6-85183　（他金融機関からの送金の場合 ： 〇一九 (ゼロイチキュウ)店　当座　0085183）

※通信欄に，必ず「発表する研究会名（〇〇支部あるいは若手活性化委員会)」「第 1 著者氏名」を記入してください. 記入できない場合は, 別途メールにてご連絡ください.（連絡先：jsse[atmark]nacos.com ）

※「振替払込請求書兼受領証」をもって領収書に代えさせて頂きます.

学会発行の領収書がご入用の場合は, 払込取扱票の通信欄に, 1) 領収書希望, 2) 宛名をご記入の上, ご送金下さい．別途事務局宛（ jsse[atmark]nacos.com ）メールでも承ります.

2019 年度研究会開催のお知らせ

開催計画

開催支部	開催日	会場
東北支部	2019 年 11 月 30 日（終了）	岩手大学
九州沖縄支部	2019 年 11 月 30 日（終了）	琉球大学教育学部
若手活性化委員会	2019 年 12 月 21 日（終了）	長崎大学・文京キャンパス
北海道支部	2020 年 3 月 7 日	北海道教育大学旭川校　自然科学棟 N123 他
北陸甲信越支部	2020 年 3 月 7 日	上越教育大学　人文棟 113，114
南関東支部	2020 年 3 月 21 日	東京学芸大学小金井キャンパス講義棟 N411
北関東支部	2020 年 5 月 16 日	群馬大学教育学部 C 棟
四国支部	2020 年 5 月 23 日	徳島大学総合科学部 1 号館
中国支部	2020 年 5 月 30 日	福山市立大学　研究棟 1 階　小講義室 C,D
東海支部	2020 年 6 月 10 日	B・nest（ビネスト）静岡市産学交流センター・静岡市中小企業支援センター

研究会に関する最新情報は学会 Web ページに掲載しますので，ご確認ください．
※右の QR コードより，学会 Web ページ（研究会案内）にアクセスできます．
http://www.jsse.jp/jsse/modules/note7/

2019 年度第 4 回日本科学教育学会研究会（北海道支部開催）

［テーマ］明日を拓く科学教育
［主　催］一般社団法人　日本科学教育学会
［日　時］令和 2 年（2020）3 月 7 日（土）　9:30～12：30
［会　場］北海道教育大学旭川校　自然科学棟 N123 教室他
〒070-8621　北海道旭川市北門町 9 丁目
［対　象］会員，教員，学生，社会人
［参　加］発表の有無にかかわらず参加できます．会員でない方もご参加いただけます．
参加費は無料です．

多数の方々のご参加をお待ちしております．

日本科学教育学会　北海道支部長　久保良宏（北海道教育大学旭川校）

2019 年度第５回日本科学教育学会研究会（北陸甲信越支部開催）

［テーマ］令和時代を切り開く科学教育研究
［主　催］一般社団法人　日本科学教育学会
［日　時］令和 2 年（2020）3 月 7 日（土）　9：30～16：30
［会　場］上越教育大学　人文棟 113，114
〒943-8512　新潟県上越市山屋敷町 1 番地
［対　象］ 会員，教員，学生，社会人
［参　加］発表の有無にかかわらず参加できます．会員でない方もご参加いただけます．
参加費は無料です．

多数の方々のご参加をお待ちしております．

日本科学教育学会　北陸甲信越支部長　三崎隆（信州大学）

2019 年度第６回日本科学教育学会研究会（南関東支部開催）

［テーマ］自然災害対策に有為な科学的知識・技能と思考・判断・表現力
［主　催］一般社団法人　日本科学教育学会
［日　時］令和 2 年（2020）3 月 21 日（土）　12:00～18:00（予定）
［会　場］東京学芸大学　小金井キャンパス　N 講義棟 411 教室（予定）
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1
会場へのアクセスの詳細は http:// www.u-gakugei.ac.jp/access/ にてご確認ください．
［対　象］会員，教員，学生，社会人
［参　加］発表の有無にかかわらず参加できます．会員でない方もご参加いただけます．
参加費は無料です．

多数の方々のご参加をお待ちしております．

日本科学教育学会　南関東支部長　鎌田正裕（東京学芸大学）

2019 年度第 7 回日本科学教育学会研究会（北関東支部開催）

［テーマ］知性を高め未来を創る科学教育

［主　催］一般社団法人　日本科学教育学会

［日　時］令和 2（2020）年 5 月 16 日（土）9:30～15:00（予定）

［会　場］群馬大学　教育学部 C 棟

〒371-8510　群馬県前橋市荒牧町 4-2

［対　象］会員，教員，学生，社会人

［参　加］発表の有無にかかわらず参加できます．会員でない方もご参加いただけます．

参加費は無料です．

［申込み先］2019 年度第 7 回日本科学教育学会研究会・企画編集委員：小泉 健輔

〒371-8510　群馬県前橋市荒牧町 4-2　群馬大学教育学部

Tel/Fax (027-220-7204)

E-mail: k-koizumi(atmark)gunma-u.ac.jp（小泉 健輔）

［発表申込・論文提出締切］

発表は，単名または連名発表者に 1 名以上の会員を含むことが条件となります．

発表申し込み時に「入会申し込み」が完了していれば，会員として扱うこととします．

希望される方は，氏名，所属，発表題目，E-mail アドレス，電話番号，連絡先住所，使用機器 を明記した E-mail を 企画編集委員：小泉健輔（群馬大学）までお送りください．

発表申込締切は，令和 2（2020）年 3 月 23 日（月）です．

研究会研究報告の原稿執筆要項は学会ホームページをご参照ください．

〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingGuidelineFrom2019.pdf 〉

研究会研究報告の原稿例も学会ホームページをご参照ください．

〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingExampleFrom2019revised.docx 〉

原稿投稿料の支払いと原稿の提出締切は，令和２（2020）年 4 月 19 日（日）です．

次のウェブサイトから投稿してください．

〈 https://jsse-kenkyukai-form.jp/ 〉

研究会情報のプルダウンメニューで「北関東支部」を選んでください．

投稿完了メールは＜info(atmark)jsse-kenkyukai-form.jp＞より自動送信されます．このアドレスからのメールを受信できるように，あらかじめフィルタ設定等をご確認ください．アドレスの(atmark)の部分は＠です．

原稿提出が指定の期日に遅れますと，投稿できなくなり，自動的に取り消しとなります．また，原稿投稿料が指定の期日に遅れますと，発表できませんので，ご注意ください．

多数の方々の申込をお待ちしております．

日本科学教育学会　北関東支部長　高藤清美（筑波学院大学）

2020 年度第８回日本科学教育学会研究会（四国支部開催）

［テーマ］科学教育温故知新

［主　催］一般社団法人　日本科学教育学会

［日　時］令和 2 年 5 月 13 日（土）　9：00～17：00

［会　場］徳島大学総合科学部 1 号館

〒770-8502　徳島市南常三島町 1 丁目 1 番地

［対　象］会員，教員，学生，社会人

［参　加］発表の有無にかかわらず参加できます．会員でない方もご参加いただけます．

参加費は無料です．

［申込み先］2020 年度第８回日本科学教育学会研究会　実行委員長：佐伯昭彦

〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島 748　鳴門教育大学大学院学校教育研究科

Tel（088-687-6395）

E-mail：asaeki(atmark)naruto-u.ac.jp

［発表申込・論文提出締切］

発表は，単名または連名発表者に 1 名以上の会員を含むことが条件となります．発表申し込み時に「入会申し込み」が完了していれば，会員として扱うこととします．

発表を希望される方は，氏名，所属，発表題目，E-mail アドレス，電話番号，連絡先住所，使用機器を明記した E-mail を 企画編集委員：佐伯昭彦（鳴門教育大学）までお送りください．

発表申込締切は，令和 2 年（2020）4 月 13 日（月）です．

研究会研究報告の原稿執筆要項は学会ホームページをご参照ください．

〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingGuidelineFrom2019.pdf 〉

研究会研究報告の原稿例も学会ホームページをご参照ください．

〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingExampleFrom2019.docx 〉

原稿投稿料の支払いと原稿の提出締切は，令和 2 年 5 月 3 日（日）です．

次のウェブサイトから投稿してください．

〈https://jsse-kenkyukai-form.jp/〉

研究会情報のプルダウンメニューで「四国支部」を選んでください．

投稿完了メールは＜info(atmark)jsse-kenkyukai-form.jp＞より自動送信されます．このアドレスからのメールを受信できるように，あらかじめフィルタ設定等をご確認ください．

アドレスの(atmark)の部分は＠です．

原稿提出が指定の期日に遅れますと，投稿できなくなり，自動的に取り消しとなります．また，原稿投稿料が指定の期日に遅れますと，発表できませんので，ご注意ください．

多数の方々の申込をお待ちしております．

日本科学教育学会　四国支部長　大橋淳史(愛媛大学)

2019 年度第９回日本科学教育学会研究会（中国支部開催）

［テーマ］新学習指導要領を踏まえた科学教育の展望

［主　催］一般社団法人　日本科学教育学会

［日　時］令和２年（2020）5 月 30 日（土）　10：00～15：00

［会　場］福山市立大学　研究棟１階　小講義室 C,D

〒721-0964　広島県福山市港町 2-19-1

［対　象］ 会員，教員，学生，社会人

［参　加］発表の有無にかかわらず参加できます．会員でない方もご参加いただけます．

参加費は無料です．

［申込み先］2019 年度第９回日本科学教育学会研究会・企画編集委員：山中　真悟

〒721-0964　広島県福山市港町 2-19-1　福山市立大学　教育学部

Tel：084-999-1081

E-mail：s-yamanaka(atmark)fcu.ac.jp（山中真悟）

［発表申込・論文提出締切］

発表は，単名または連名発表者に１名以上の会員を含むことが条件となります．発表申し込み時に「入会申し込み」が完了していれば，会員として扱うこととします．

希望される方は，氏名，所属，発表題目，E-mail アドレス，電話番号，連絡先住所，使用機器 を明記した E-mail を 企画編集委員：山中真悟（福山市立大学）までお送りください．

発表申込締切は，令和２年（2020）4 月 20 日（月）です．

研究会研究報告の原稿執筆要項は学会ホームページをご参照ください．

〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingGuidelineFrom2019.pdf 〉

研究会研究報告の原稿例も学会ホームページをご参照ください．

〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingExampleFrom2019.docx 〉

原稿投稿料の支払いと原稿の提出締切は，令和２年（2020）5 月 10 日（日）です．

次のウェブサイトから投稿してください．

〈https://jsse-kenkyukai-form.jp/〉

研究会情報のプルダウンメニューで「中国支部」を選んでください．

投稿完了メールは＜info(atmark)jsse-kenkyukai-form.jp＞より自動送信されます．このアドレスからのメールを受信できるように，あらかじめフィルタ設定等をご確認ください．

アドレスの(atmark)の部分は＠です．

原稿提出が指定の期日に遅れますと，投稿できなくなり，自動的に取り消しとなります．また，原稿投稿料が指定の期日に遅れますと，発表できませんので，ご注意ください．

多数の方々の申込をお待ちしております．

日本科学教育学会　中国支部長　栢野　彰秀（島根大学）

2019 年度第 10 回日本科学教育学会研究会（東海支部開催）

［テーマ］これからの人材育成を考える科学教育

［主　催］一般社団法人　日本科学教育学会

［日　時］令和 2 年（2020）6 月 20 日（土）　10：00～16：00（予定）

［会　場］B・nest（ビネスト）静岡市産学交流センター・静岡市中小企業支援センター
〒420-0857　静岡県静岡市葵区御幸町 3 番地の 21　ペガサート 6 階・7 階

［対　象］ 会員，教員，学生，社会人

［参　加］発表の有無にかかわらず参加できます．会員でない方もご参加いただけます．
参加費は無料です．

［申込み先］2019 年度第 10 回日本科学教育学会研究会・企画編集委員：山本 高広
〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836 静岡大学学術院教育学領域 教育学部 理科教育専修
Tel/Fax（054-238-4633）
E-mail：yamamoto.takahiro(atmark)shizuoka.ac.jp（山本高広）

［発表申込・論文提出締切］

発表は，単名または連名発表者に 1 名以上の会員を含むことが条件となります．
希望される方は，氏名，所属，発表題目，E-mail アドレス，電話番号，連絡先住所，使用機器を明記した E-mail を企画編集委員：山本高広（静岡大学）までお送りください．
発表申込締切は，令和２年（2020）5 月 11 日（月）です．（開催 40 日前）
研究会研究報告の原稿執筆要項は学会ホームページをご参照ください．
〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingGuidelineFrom2019.pdf〉
研究会研究報告の原稿例も学会ホームページをご参照ください．
〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingExampleFrom2019.docx 〉
原稿投稿料の支払いと原稿の提出締切は，令和２年（2020）5 月 31 日（日）です．
次のウェブサイトから投稿してください．
〈https://jsse-kenkyukai-form.jp/〉
研究会情報のプルダウンメニューで「東海支部」を選んでください．
投稿完了メールは＜info(atmark)jsse-kenkyukai-form.jp＞より自動送信されます．このアドレスからのメールを受信できるように，あらかじめフィルタ設定等をご確認ください．
アドレスの(atmark)の部分は＠です．
原稿提出が指定の期日に遅れますと，投稿できなくなり，自動的に取り消しとなります．また，原稿投稿料が指定の期日に遅れますと，発表できませんので，ご注意ください．

多数の方々の申込をお待ちしております．

日本科学教育学会　東海支部長　大鹿聖公（愛知教育大学）

国際学会参加報告（61）

- The ICASE (International Council of Associations for Science Education) 2019 Conference -

2019 年 12 月 2 日から 6 日にかけて，タイのパタヤで The 6th ICASE World Science and Technology Education Conference 2019 が開催された．ICASE は，世界の科学教育学会・教育機関・非営利組織等による協議会で，日本科学教育学会はそのメンバーとして加盟している．現在，私（隅田）がアジア代表理事を務めている．今回は，日本から，昭和女子大学の白數哲久先生，愛媛大学大学院の赤羽健斗さん，そして私が参加し，発表を行った．

ICASE は，1973 年の設立当初より，UNESCO と強い連携を持っており，本大会でも ユネスコ・ジャカルタオフィスの Shahbaz Khan 博士が，「Capacity Building in Science, Engineering, Technology and Innovation (SET) for a Sustainable Future for All」と題する基調講演を行った．23 カ国から 200 名を超える参加者が集まり，その発表内容や交流の多様性が本協議会，大会の重要な特徴の一つである．学術的な研究発表から，身近で安価な素材を用いた教材ワークショップ，サイエンスショー，学会誌の投稿状況や準備に関わるワークショップなど，趣向を凝らした５日間の大会であった．2020 年 1 月より，Shaanxi Normal University の Baohui Zhang 博士が新会長となる．

ICASE 大会は３年に一度開催される．そこでは，大会期間中に参加者がグループに分かれて議論を行い，最終日に，次の３年間の指針としての宣言を行う（これは，ICASE World Conference Declarations と呼ばれる）．今大会も，大会中に参加者が議論を行い，理事がその議論を整理して，最終日にパタヤ宣言が提案された．現在，最終修正中であり，最終版の宣言は ICASE のウェブに掲載される予定である．

ICASE 2019 大会

（愛媛大学・隅田 学）

国際学会開催情報

The 11th International Conference on Education, Training and Informatics: ICETI 2020
in the context of The 11th International Conference on Society and Information Technologies: ICSIT 2020
開催地：Orlando, Florida, USA
期間：2020 年 3 月 10 - 13 日
http://www.iiis-spring20.org/icsit/website/default.asp?vc=31

The 31st annual conference of the Society for Information Technology and Teacher Education
開催地：New Orleans, USA
期間：2020 年 4 月 6 -10 日
https://site.aace.org/conf/
☆特色：地元の学校見学のツアーが計画されることがある(毎回ではない)ので，海外の学校を見学してみたいという人にお勧め.

The 6th International Conference on Learning and Teaching—ICLT 2020
開催地：Macau, China
期間：2020 年 5 月 18-20 日
http://www.iclt.org/

EdMedia
開催地：Amsterdam, Netherlands
期間：2020 年 6 月 18-20 日
https://www.aace.org/conf/edmedia/
☆特色：地元の学校見学のツアーが計画されることがある(毎回ではない)ので，海外の学校を見学してみたいという人にお勧め.

The World Science Technology Engineering and Mathematics (STEM) Education Conference
※JSSE が加入する The International Council of Associations for Science Education (ICASE) と Istanbul Aydın University とが共催で開催します.
開催地：イスタンブール
期間：2020 年 6 月 18-20 日
アブストラクト提出締切：5 月 15 日
http://www.worldstemed.org/

AACE International Conference & Expo
開催地：Chicago, USA
期間：2020 年 6 月 28 日-7 月 1 日
https://web.aacei.org/conferences-events

The 6th International STEM in Education Conference
開催地：Vancouver, Canada
期間：2020 年 7 月 9-11 日
http://stem2020.ubc.ca/

26th IUPAC International Conference on Chemistry Education
開催地と期間：2 年ごとに開催される化学教育の国際会議．今回は南アフリカ・ケープタウンで 2020 年 7 月 13-17 日に開催．要項締切は 3 月 31 日．
https://www.icce2020.org.za/

24th International Conference on Knowledge-Based and Intelligent Information & Engineering Systems
開催地：Verona, Italy
開催期間：2020 年 9 月 16-18 日
論文の提出締め切り：2020 年 4 月 3 日
査読結果の通知：2020 年 5 月 1 日
Elsevier 出版用カメラレディ最終校正原稿の締め切り：2020 年 5 月 29 日
http://kes2020.kesinternational.org/

若手活性化委員会だより

「2019 年度第３回日本科学教育学会研究会」報告

2019 年 12 月 21 日,「次世代の科学教育研究」をテーマに若手活性化委員会担当の第３回研究会が,長崎大学（文教キャンパス）において開催されました．今年も昨年度までと同様に，ポスター・マッドネス&セッションだけでなく，論文執筆ワークショップを実施いたしました．ワークショップの参加者は約 70 名，ポスターセッションの参加者は 106 名となり，昨年度の若手活性化委員会担当研究会を超える規模となりました．

今回のワークショップは,「査読の対応」に焦点を当てて実施しました．山田真子先生（長崎大学）と吉田実久先生（神戸大学）による司会のもと,『科学教育研究』の若手特集の採録経験者として，雲財寛先生（日本体育大学)，川上貴先生（宇都宮大学)，木村優里先生（東京学芸大こども未来研究所)，山口悦司先生（神戸大学）の４名の先生から，査読対応に関するノウハウ，採録に至るまでのエピソード,査読対応の苦労話などを語っていただきました. その後, 指定討論者として杉本雅則先生（北海道大学）によるラップアップおよび採録経験者との質疑がなされ，会場の先生方をまじえて質疑応答が行われました．参加者からは,「査読にどのように対応したのかを聞いていてとても面白かった」,「普段は見られない査読の過程を知ることができて，参考になりました」などの感想をいただきました．今回のワークショップが皆様の今後の査読対応に何かしら資することができれば幸いです. また,「査読する側はどの様な点に着目して査読するのかが知りたいなと思った」,「１人１人の話を聞く時間がもう少し欲しかった」,「焦点をもう少しだけ絞ってほしかった」などの改善点もいただきました．参加者の皆様からのコメントをもとに，次回の研究会企画を検討したいと思います．貴重なお話を語っていただいた 4 名の先生方に厚く感謝申し上げます．誠にありがとうございました．

ポスター発表については, 発表件数 66 件と過去最多であったため，４つのセッションに分けて行いました．各セッションは個性的なポスター・マッドネスに始まり，参加者同士の活発な議論が会場全体で繰り広げられました．参加者からは,「議論が活発に行われていてとても有意義だった」,「テーマがバラエティ豊かで，方法論など，多様に学べた」といった感想をいただきました．また，参加者投票の結果，今回のベスト・プレゼンテーション賞に選ばれた方は以下の 11 名でした. 素晴らしい発表で研究会を盛り上げていただき誠にありがとうございました．

加納圭（滋賀大学）：
　アートとサイエンスの融合イベントへの参加意向と実際の参加者層の分析

川島紀子（文京区立第六中学校・お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科）：
　３Ｄプリンタを活用した教材を用いて地域の地形や防災について考えを深める授業実践

北堀榛花（明治学院大学大学院心理学研究科）：
　小数の乗法・除法の文章題解決における児童のつまずきに関する一考察

木村優里（特定非営利活動法人東京学芸大こども未来研究所）：
実社会・実生活の問題解決という文脈を導入した理科の授業デザインに関する研究
－エンジニアリングを主軸とした STEM 教育型理科授業の開発－

古賀竣也（筑波大学大学院人間総合科学研究科・日本学術振興会特別研究員）：
統計教育における批判的思考の概念的特徴と国内の実践の課題

塩田悠介（長崎大学教育学部）：
バーチャル環境における街づくりを通した交通安全教育の実践

下村岳人（島根大学）：
数学的知識の協定にみる数学的交渉の役割

中村大輝（広島大学大学院）：
資質・能力の育成を意図した理科実践研究のメタ分析

服部裕一郎（高知大学）：
数学的活動を真正にするためのユーモアの役割

松岡浩平（筑波大学）：
太陽の日周運動に関する視点移動を支援する XR 天文教育支援ソフトウェアの開発

山崎美穂（帝京大学）：
解法選択で付与される数学的価値の特質に関する一考察

若手活性化委員会では，このような研究会や年会企画の運営に携わっていただくボランティア参加者を毎回募っています．今回は 11 名の皆様に会場設営，受付業務などを手伝っていただきました．今回初めてボランティアとして携わっていただいた方が多数でしたが，ボランティアの皆様の積極的で協働的な取り組みにより，本研究会がかなり円滑に進行していたように思います．本研究会の運営に携わっていただいたボランティアの皆様，朝早くから本当にありがとうございました．この経験が今後の研究生活の役に立てば幸いです．また，本研究会の運営に際しては，会場校である長崎大学の瀬戸崎典夫先生と瀬戸崎ゼミの学生にも会場設営をお手伝いいただきました．この場をお借りして御礼申し上げます．

ワークショップ

ポスターセッション

日本科学教育学会第 44 回年会
若手チュートリアル＆スタートパーティー予告

2020 年 8 月 25 日（火）～27 日（木）に姫路商工会議所で開催されます日本科学教育学会第 44 回年会において，チュートリアル，スタートパーティーを大会初日の 8 月 25 日（火）に開催予定です.

●チュートリアル

今回のチュートリアルは,「研究方法論（methodology）」をテーマに行う予定です．今回のチュートリアルも，昨年度と同様に『科学教育研究』への採録経験がある先生をゲストスピーカーとしてお招きする予定です. ゲストスピーカーには, 具体的な研究手法のほか,「どのような認識論に基づいて研究を行ったのか」,「どのように研究をデザインしていったのか」などについても詳しく語ってもらう予定です.

このように，研究手法だけでなく，その背後にある認識論や研究デザインなどについても考えることができるチュートリアルにする予定です．みなさんの研究の幅を広げる機会にもなると思いますので，興味のある方はぜひご参加ください.

●スタートパーティー

若手研究者の交流の活性化を図る「スタートパーティー」を今年も開催します．夜の姫路を楽しみましょう！

※今年はフィールドワークを予定しておりません．ご留意ください.

その他

情報は，若手活性化委員会 Facebook ページやメーリングリストで続々公開しております．どうぞご期待下さい.

◯若手活性化委員会 Facebook
https://www.facebook.com/jssewakate/

◯JSSE 若手研究者メーリングリスト登録 URL
https://goo.gl/tClQb4

（日本女子大学・大谷洋貴）
（日本体育大学・雲財寛）

編集委員会だより

「科学教育研究」編集状況報告

前回（2019 年 11 月 16 日）以降，この間に編集理事会は開催されていないので，「科学教育研究」編集状況の報告のみとする．

1. 新規投稿論文（2019.12.1～2020.1.31）：15 編（内訳：和文 14 編，英文 1 編）
2. 査読中論文（2020.1.31 現在）：22 編（内訳：担当編集委員選定中：0 編，査読者選定中：5 編，査読中（1 回目）：9 編，担当編集委員による第 1 審総合判定中：1 編，改訂稿待ち：2 編，査読中（2 回目）：5 編，担当編集委員による第 2 審総合判定中：0 編，編集委員長による最終判定中：0 編）
3. 掲載決定論文（2019.12.1～2020.1.31 現在）：4 編（内訳：研究論文 2 編，総説・展望 0 編，資料 1 編，プラザ 1 編（合計 44-1：3 編（通算 4 編），44-2：1 編（通算 1 編））

次の編集理事会は，2020 年 3 月 21 日（土）12:00～14:00，場所は，内田洋行新川本社を予定している．

「科学教育研究」投稿状況および掲載決定状況

（2020年1月31日　現在）

	新規投稿論文数（編）		審査中（編）		掲載決定論文数（掲載号）		招待論文数（掲載号）		掲載不可論文数	
	和　文	英　文	和　文	英　文	和　文	英　文	和　文	英　文	掲載不可	辞退
2018年　1月	7	0	27	1	1 (42-1) 1 (42-2)	0 (42-1) 0 (42-2)	0 0		5	0
2018年　2月	7	0	30	1	1 (42-2) 0 (42-3)	0 (42-2) 0 (42-3)	0 0		3	0
2018年　3月	15	0	37	1	4 (42-2) 0 (42-3)	0 (42-2) 0 (42-3)	1 (42-2) 0		3	1
2018年　4月	14	0	42	0	1 (42-2) 3 (42-3)	0 (42-2) 0 (42-3)	0 0		4	2
2018年　5月	5	0	35	0	1 (42-2) 3 (42-3)	0 (42-2) 0 (42-3)	0 0	1 (42-2)	8	0
2018年　6月	6	0	35	0	3 (42-3) 0 (42-4)	0 (42-3) 0 (42-4)	0 0		3	0
2018年　7月	6	1	35	1	1 (42-3) 1 (42-4)	0 (42-3) 0 (42-4)	0 0		3	1
2018年　8月	6	1	30	1	6 (42-4) 0 (43-1)	0 (42-4) 0 (43-1)	0 0		6	0
2018年　9月	4	0	16	1	9 (42-4) 1 (43-1)	0 (42-4) 0 (43-1)	0 0		7	2
2018年　10月	14	0	26	1	0 (42-4) 1 (43-1)	0 (42-4) 0 (43-1)	0 0		2	1
2018年　11月	5	0	24	1	0 (42-4) 1 (43-1)	0 (42-4) 0 (43-1)	0 0		6	0
2018年　12月	4	0	26	1	1 (43-1) 0 (43-2)	0 (43-1) 0 (43-2)	0 0		1	0
2019年　1月	8	0	27	0	0 (43-1) 5 (43-2)	0 (43-1) 0 (43-2)	0 0		4	0
2019年　2月	2	0	24	0	0 (43-1) 4 (43-2)	0 (43-1) 0 (43-2)	0 0		1	0
2019年　3月	11	0	28	0	2 (43-2) 0 (43-3)	0 (43-2) 0 (43-3)	0 0		4	1
2019年　4月	18	0	39	0	2 (43-2) 1 (43-3)	0 (43-2) 0 (43-3)	0 0		4	0
2019年　5月	7	0	39	0	0 (43-2) 2 (43-3)	0 (43-2) 0 (43-3)	2 0		5	0
2019年　6月	4	0	37	0	2 (43-3) 0 (43-4)	0 (43-3) 0 (43-4)	0 0		4	0
2019年　7月	4	0	36	0	1 (43-3) 2 (43-4)	0 (43-3) 0 (43-4)	0 0		1	1
2019年　8月	1	0	25	0	0 (43-3) 4 (43-4)	0 (43-3) 0 (43-4)	0 0		7	1
2019年　9月	8	0	13	0	11 (43-4) 0 (44-1)	0 (43-4) 0 (44-1)	0 0		8	1
2019年　10月	9	0	20	0	0 (43-4) 0 (44-1)	0 (43-4) 0 (44-1)	0 0		2	0
2019年　11月	5	0	20	0	1 (44-1) 0 (44-2)	0 (44-1) 0 (44-2)	0 0		4	0
2020年　12月	6	0	18	0	2 (44-1) 0 (44-2)	0 (44-1) 0 (44-2)	0 0		6	0
2020年　1月	8	1	21	1	1 (44-1) 1 (44-2)	0 (44-1) 0 (44-2)	0 0		3	0

特集投稿募集のお知らせ（再）

編集委員会では，若手活性化委員会と連携し，下記の主旨で「科学教育研究」第 44 巻第 4 号での特集を企画します．研究論文，総説・展望，資料，プラザ，全ての種別の原稿を募集いたします．ふるってご投稿のほどお願い申し上げます．なお，投稿規定により，「科学教育研究」への投稿論文は，筆頭著者が日本科学教育学会の会員である必要があります．また，この特集には投稿条件が設定されています．その点ご注意ください．

編集委員長　　二宮裕之
特集編集部会長　雲財　寛

特集名：次世代を担う若手研究者の科学教育研究

一昨年，昨年に続き若手会員を対象とした特集は三回目を迎える．本特集は，本学会の若手研究者支援活動の一環であり，若手活性化委員会の担当研究会との連携企画である．一昨年，昨年の継続した企画を通して，若手会員からの投稿を促進してきた．そこで，本年においても若手会員を対象とした特集を企画し，若手会員の研究活動のさらなる支援と，学術論文の公表機会の提供を行う．具体的な企画内容は下記の通りである．前回と同様に，(1)特集編集部会のメンバーが若手活性化委員会担当の研究会に参加し，若手会員の研究発表に対して建設的なコメントを行う，(2)学会誌投稿に向けた若手会員からの相談を受ける，(3)本特集への論文投稿を積極的に促進する．このため，若手活性化委員会が担当する研究会(開催日：2019 年 12 月 21 日(土)，会場：長崎大学)での研究発表が投稿条件の１つとなっている．このように，本特集は，研究発表を通した一連の支援により，学会誌への投稿を促進することを目的としている．また，前特集からの変更点として，より幅広い若手会員の投稿を促進するために，投稿条件の一部を改定した．具体的には，40 歳以上であっても，修士課程，博士課程，専門職学位課程のいずれかに在学している，いわゆる「社会人大学院生」も，若手活性化委員会が担当する研究会での研究発表の内容をもとに投稿できるよう改定を行った．このように，より幅広い若手会員を対象とした特集を継続的に企画することで，本学会の若手会員の研究活動を支援し，科学教育にかかわる研究や実践のさらなる充実と発展を目指す．

特集編集部会の構成メンバー
部会長：雲財　寛(日本体育大学) 副部会長：大谷洋貴(日本女子大学)，高橋　聡(関東学院大学)
特集編集部会委員：舟橋友香(奈良教育大学)，山口悦司(神戸大学)，北澤　武 (東京学芸大学)，鈴木栄幸(茨城大学)，江草遼平(明治学院大学)，大塚慎太郎(敬愛大学)，杉本雅則(北海道大学)，吉田実久(神戸大学)，大浦弘樹(東京工業大学)，大野美喜子(産業技術総合研究所)，木村優里(東京学芸大こども未来研究所)，山田真子(長崎大学)，中原久志(大分大学)など

投稿条件
以下の３点の条件全てを満たした投稿を受け付けます．これらの条件を満たしていないと判断された論文につきましては，一般論文としての査読対象とさせていただきます．あらかじめご承知おきください．

(1) 以下の(a)，(b)，(c)のいずれかを満たす学会員が，投稿論文の筆頭著者となっていること．
(a) 投稿締切日時点で，39 歳以下である．
(b) 投稿締切日時点で，修士課程，博士課程，専門職学位課程のいずれかに在学している．
(c) 投稿締切日時点で，博士の学位取得後 8 年未満(※)である．
(※) 投稿締切日までに博士の学位を取得見込みの者及び博士の学位を取得後に取得した産前・産後の休暇，育児休業の期間を除くと博士の学位取得後 8 年未満となることを含む．
(2) 若手活性化委員会が担当する研究会(開催日：2019 年 12 月 21 日(土)，会場：長崎大学)で，筆頭著者として研究発表を行っていること．
(3) 上記(2)の研究発表内容に基づいた論文であること．

事前申込締切：2020 年 2 月末日

限られたスケジュールの範囲で査読プロセスを円滑かつ確実に進めるため, 事前申込を必須とします．投稿を予定している方は大変お手数ですが，メールタイトル「特集：次世代を担う若手研究者の科学教育研究の事前申込」とし，著者名・所属，仮タイトル，論文種別，E-mail アドレス，電話番号，連絡先住所を jsse-hen [at mark] nacos.com までお送りください．

投稿受付開始：2020 年 1 月 1 日

投稿締切：2020 年 3 月 31 日
*特集に投稿する場合は，投稿システムの「手順 5：設問」画面の「掲載号」で「特集号」を選択してください．

投稿論文の取り扱い本特集の刊行までに採択されない投稿論文については，一般論文としての査読を継 続いたします．

発刊予定：2020 年 12 月

広報委員会からのお知らせ

科学教育研究レター第 246 号をお届けします．一般社団法人日本科学教育学会の広報活動についてお気づきの点などがございましたら，学会 Web サイトにある「お問い合わせ」をご利用のうえ，お知らせください．

担当理事： 舟生日出男（創価大）　谷塚光典（信州大）

委　　員： 内ノ倉真吾（鹿児島大）　益川弘如（聖心女子大）　竹中真希子（大分大）
縣　秀彦（国立天文台）　加納寛子（山形大）　島田和典（東京学芸大）
高橋　聡（東京理科大）

幹　　事： 辻山洋介（千葉大）　石﨑友規（常磐大）

科学教育研究レター編集　日本科学教育学会広報委員会

一般社団法人日本科学教育学会　Japan Society for Science Education

ＵＲＬ： *http://www.jsse.jp*

□ 事務局　中西印刷（株） 学会部　内　ＴＥＬ：075-415-3661　ＦＡＸ：075-415-3662
E-mail : *jsse [at mark] nacos.com*
〒602-8048　京都市上京区下立売通小川東入ル

□編集事務局（論文投稿・査読編集）　ＴＥＬ：075-415-3155　ＦＡＸ：075-417-2050
E-mail : *jsse-hen [at mark] nacos.com*
中西印刷（株） 学会部　内　〒602-8048　京都市上京区下立売通小川東入ル

郵便振替口座：00170-6-85183　日本科学教育学会
銀 行 口 座：みずほ銀行 京都中央支店　普通 2269008　日本科学教育学会